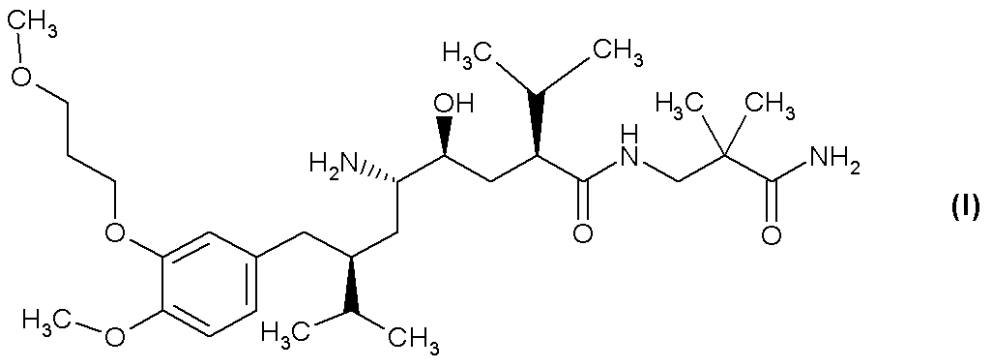
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【公表番号】特表2010-520213(P2010-520213A)
【公表日】平成22年6月10日(2010.6.10)
【年通号数】公開・登録公報2010-023
【出願番号】特願2009-551834(P2009-551834)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/165　 (2006.01)
Ｃ０７Ｃ 237/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１
Ａ６１Ｐ　 9/12
Ａ６１Ｋ　31/165
Ｃ０７Ｃ 237/12

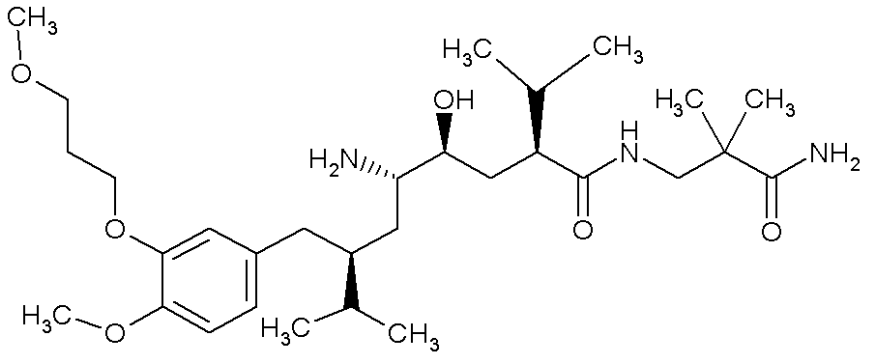
【手続補正書】
【提出日】平成23年2月24日(2011.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
高ナトリウム食の患者における高血圧を予防、進行遅延、または処置するための、レニン阻害剤または薬学的に許容されるその塩を有効成分として含む、医薬組成物。
【請求項２】
血圧に対する高ナトリウム食の影響を阻止、遅延(delay progression)または処置するための、レニン阻害剤または薬学的に許容されるその塩を有効成分として含む、医薬組成物。
【請求項３】
レニン阻害剤が式(Ｉ)
【化１】



(I)

の化合物、または薬学的に許容されるその塩である、請求項１または２に記載の医薬組成

物。
【請求項４】
高ナトリウム食が、≧２００mmol／日のナトリウム摂取を意味する、請求項１～３のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項５】
高ナトリウム食が、２２０～３００mmol／日のナトリウム摂取を意味する、請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項６】
レニン阻害剤または薬学的に許容されるその塩を、単位投与形態あたり７５～６００mgの遊離塩基の範囲の量で使用する、請求項１から５のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項７】
該患者の血圧が、同じ処置を受けている低ナトリウム食の患者の血圧と同等に制御できる、請求項１から５のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項８】
ｉ)レニン阻害剤または薬学的に許容されるその塩の投与形態あたり７５～６００mgを、それを必要とする患者に毎日投与し、
ii)該処置患者を高ナトリウム食の患者から選択する、
処置レジメン。
【請求項９】
レニン阻害剤が式(Ｉ)
【化２】



(I)

の化合物または薬学的に許容されるその塩である、請求項８に記載の処置レジメン。
【請求項１０】
高ナトリウム食が、≧２００mmol／日のナトリウム摂取を意味する、請求項８または９に記載の処置レジメン。
【請求項１１】
高ナトリウム食が、２２０～３００mmol／日のナトリウム摂取を意味する、請求項１０に記載の処置レジメン。
【請求項１２】
該患者の血圧が、同じ処置を受けている低ナトリウム食の患者の血圧と同等に制御できる、請求項１から５のいずれかに記載の医薬組成物。